

慢性腎炎の弁証論治

黄 懷龍

当資料の転載、複製、改変等は禁止いたします。

一、概 論

慢性糸球体腎炎（chronic glomerulonephritis; CGN）は、蛋白尿、血尿、高血圧が1年以上持続するもので、しばしば無症状のまま数年～十数年にわたって遷延する、腎機能障害が徐々に進行し、最終的には腎不全に陥るものである。

中医学では、慢性腎炎は「水腫」、「陰水」、「水気病」、「虚勞」などの範疇に属する。

病位は主に肺、脾、腎の三臓にあり、多くは虚証であるが、時々虚実兼証もある。

二、西洋医学のとらえ方

(一) 病理特徴

初期には糸球体の変化：メサンジウム基質の増殖、糸球体内における免疫複合体、補体の沈着活性化、単球の浸潤、血小板凝集などが関与して炎症が起こられる。

進行に従って腎機能が低下し、高血圧が長く続くと次第に尿細管の萎縮や代償性肥大、細小血管壁の肥厚など病変が変わってくる。

(二) 病理学分類

- ① 微小変化群（糸球体微小異常）
- ② メサンギウム増殖性糸球体腎炎（IgA腎症や紫斑病性腎炎）
- ③ 膜性腎症
- ④ 巣状糸球体硬化症（巣状／分節性病変）
- ⑤ 半月体形成性糸球体腎炎（血管炎症候群）

(三) 臨床病型

- ・ ①**潜在型（無症状性蛋白尿型）**：軽度の蛋白尿（1g/日以下）のみが唯一の所見です。
- ・ ②**血尿型**：尿蛋白軽度、主に血尿が現れ、腎機能正常、蛍光抗体の検査で糸球体のメサンジウム（mesangium）にIgAの沈着が見られ、IgA腎炎と呼ばれる。
- ・ ③**高血圧型**：高血圧が主な所見で、その他蛋白尿、腎機能は軽度ないし中等度変化。
- ・ ④**ネフローゼ型**：三高一低
- ・ ⑤**慢性腎不全型**： $GFR < 60 \text{ mL/min/1.73m}^2$

(四) 診断基準

- ・ ①急性腎炎の発症から遷延し(異常尿又は高血圧)、1年以上持続している。
- ・ ②急性発症ないけど、異常尿(蛋白尿、円柱尿、血尿)所見が1年以上持続存在するものである。
- ・ ③その他の疾患による二次的な腎炎を除外し、つまり糸球体に原発したもの、しかも経過中腎機能低下は伴わなくてもよい。

三、中医学の弁証 (主に浮腫)

(一) 中医の腎とは



(二) 津液 (水分) の代謝

- 「素問・経脈別論」 「飲入於胃、遊溢精気、上輸於脾、脾気散精、上歸於肺、通暢水道、下輸膀胱、水精四布、五経並行」
- (飲は胃に入り、精気を遊溢し、上がって脾に転輸し、脾気は精を散じ、上がって肺に歸し、水道を通暢し、下がって膀胱に輸す、水精は四布し、五経ともにめぐると記載されている)

(三) 津液の病理状態

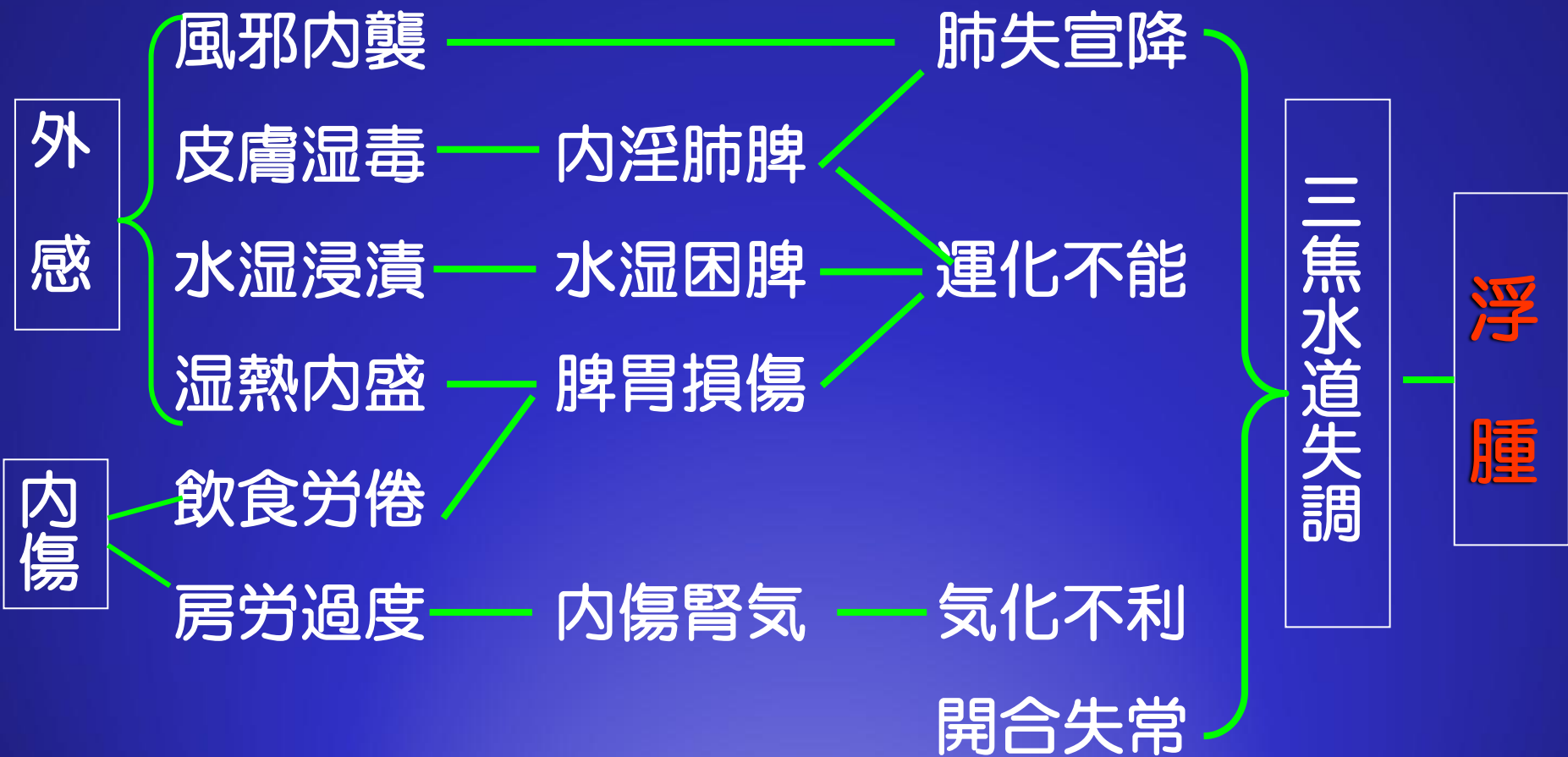
津液

病態

• 津液不足 ——— 傷津、脱液、陰液損傷
する（脱水状態など）

• 水液停滞 ——— 水、湿、痰、飲など邪
気内生、蓄積する。

(四) 浮腫の病因病機



(五) 浮腫の分類と弁証

陽水

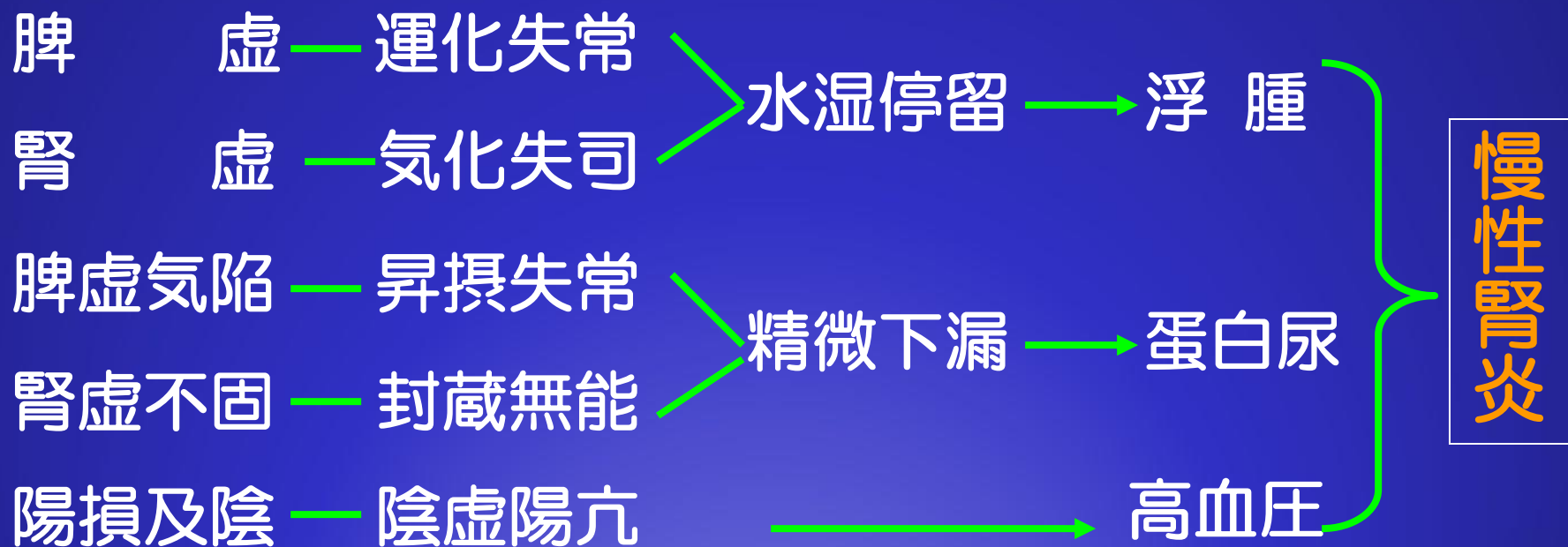
- ・ 発病が急激で体の上部が浮腫、表証、熱証、実証の病態を呈する、皮膚の色が黄赤、便秘口渇、脈像浮数滑などが見られる。

陰水

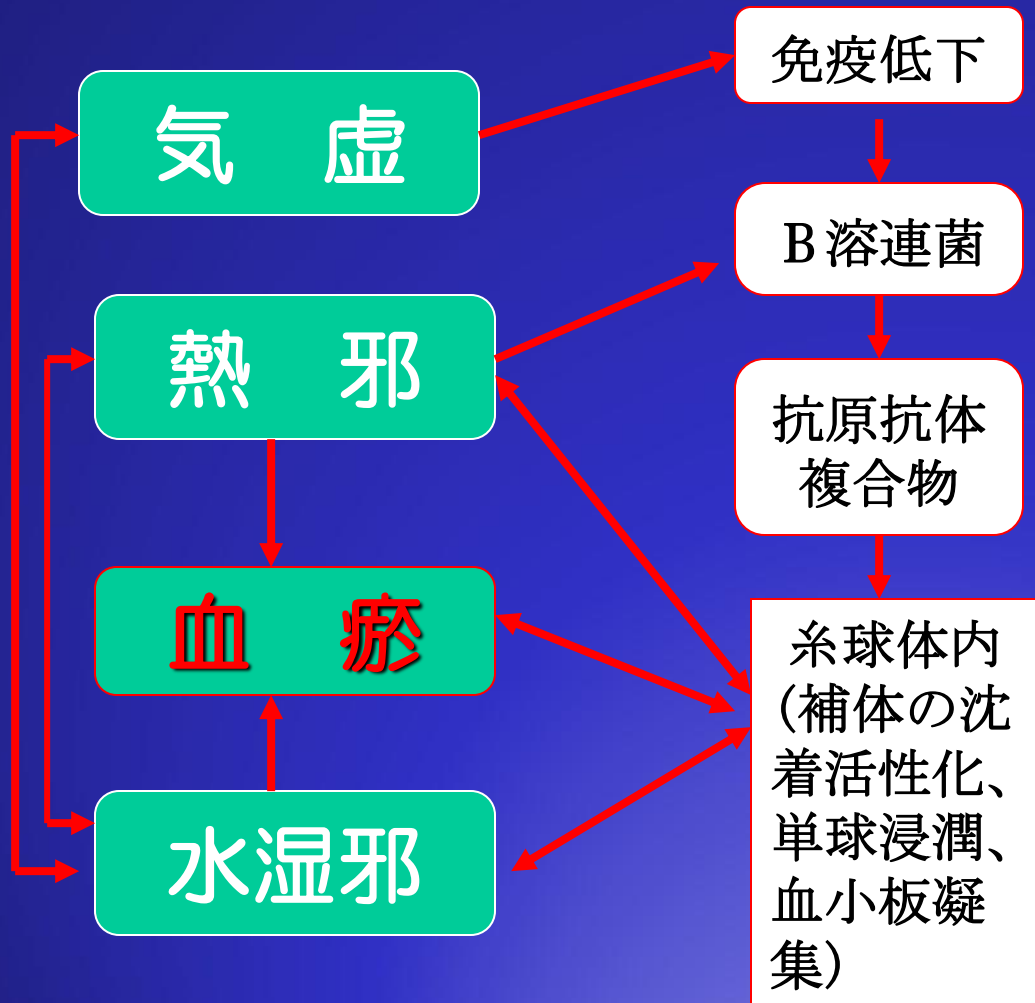
- ・ 徐々に起病し、先ず下肢が浮腫み、皮膚の色は薄白或は暗い、口淡、軟便、脈は沈遅など寒証、虚証の病態を呈する。主に脾腎虚弱、化水治水出来ないため生じる水腫である。

四、慢性腎炎の弁証論治

(一) 病因病機



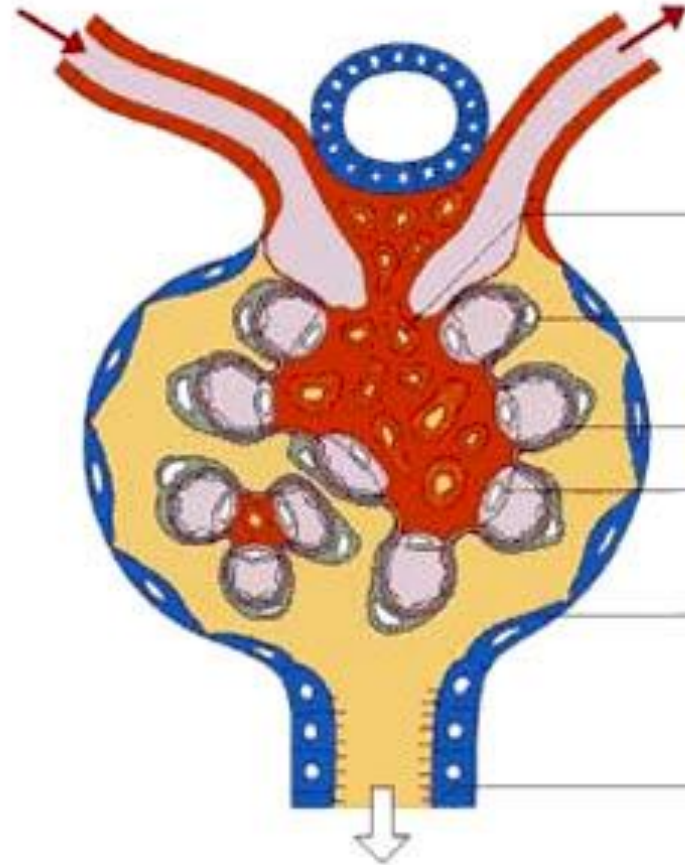
(二) 氣虛血瘀と慢性腎炎



糸球体腎炎の病態

輸入細動脈

輸出細動脈



(三) 治療原則

A, 扶正祛邪

- 1、扶正益氣固表 → 免疫機能を高め、感染を予防
- 2、健脾益氣 → 低蛋白血症、胃腸副作用を減らす
- 2、補腎填精 → 免疫を高め、蛋白尿を止める

B, 祛邪安正

- 1、清利湿熱熱毒法 → 溶連菌及びクッシング症候群の治療
- 2、活血化瘀法 → 糸球体炎症、血小板凝集などを治療

(四) 弁証論治

A, 浮腫について

1、脾腎陽虚型

【症状】 全身浮腫、腰の以下酷い、押さえると凹むが消えにくい、顔面晄白、腹満納呆、腰膝酸軟、寒がり、四肢冷え、尿少軟便、舌質胖淡、舌辺齒痕、脈沈微無力など

【治法】 温腎健脾利水

【方劑】 真武湯合防己黄耆湯

2、水湿血瘀型

【症状】 浮腫は酷くない、顔色が萎黄、倦怠感、腕腹脹満、食欲不振、尿少軟便、舌質は淡白、瘀斑瘀点、脈弦澁。

【治療】 利水健脾、益気活血

【処方】 防已黄耆湯合サフラン末

3、湿熱瘀滯型

【症状】 浮腫、顔色が赤い、肥満、熱がり、多汗、胸が暑苦しい、動悸、不眠、頭が脹って痛む、咽喉部が腫痛、ニキビに感染する、皮膚瘡瘍、小便が少なく黄赤色、灼熱感、出にくく、便秘、舌暗紅、瘀斑瘀点、舌苔が薄白或は薄黄、脈は滑数

【治療】 清熱解毒、活血利水

【方薬】 猪苓散合サフラン末

B、蛋白尿について

1、脾虚気陷型

【症状】 浮腫腹満、尿蛋白がもれ、倦怠脱力、顔面蒼白、食欲不振、軟便下痢、舌淡白苔白、脈沈細無力

【治法】 補中益気補腎

【方剂】 補中益気湯

2、腎虚不蔵型

- 【症状】 腰以下浮腫、顔面晦暗、腰のだるく
- 、倦怠脱力感、四肢冷え、インポテ
- ンツ或は遺精、夜尿多、或は少尿、
- 尿に泡が立つ、舌淡白胖大辺歯痕脈
- 沈微無力

- 【治法】 補腎固澁健脾

- 【方劑】 八味地黄丸

C、腎性高血圧について

1、肝腎陰虚型

- ・ 【症状】 眩暈、頭痛、目が乾燥し、耳鳴り、いらいらして怒りッぽい、動悸不眠、口渇、腰や膝の強ばりと痛み、手足のほてり、舌質は紅、脈は弦滑又は細弦である。
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・ 【治法】 滋陰養血、平肝潜陽
- ・
- ・ 【方劑】 六味丸合七物降下湯

・ 2、痰濁肝風型

- ・ 【症状】 浮腫、頭がクラクラする。後頭部が
- ・ 重く、悪心・痰涎を吐く。胸～上腹
- ・ 部の満悶、苔白膩脈滑或は脈弦滑

- ・ 【治法】 化痰利湿、平肝熄風

- ・ 【方劑】 半夏白朮天麻湯
- ・



ありがとうございました！